

ギンダラケ倶楽部がお届けする、

PMC プロへのインタビュー



#2.PMC ギルドジャパン理事 吉田まなみさん

今回は講師としてご活躍されている吉田まなみさんにインタビューをいたしました。
資格を取って、講師になるって想像できない！という方のために色々お話を伺いました。

1. PMC ギルドジャパンの理事を務められています、簡単に自己紹介をお願いいたします。

こんにちは。PMC ギルドジャパン講師の吉田まなみです。

きっと、「PMC ギルドジャパンって何??」という方もいらっしゃるかもしれませんね。

PMC ギルドジャパンというのは、PMC を使った制作技術を教えている講師の集まりです。

現在、全国に講師が500人近くいます。

大きなイベントとしては、毎年協会展、それから技術研鑽と親睦のためのカンファレンスを4年に1回開催しています。その他、各支部でセミナーやワークショップ、販売会、体験会など。

簡単に言うと、PMC が好きでハマってしまった人たちの集まりでしょうか。

私自身は都内3か所の少人数の教室で教えています。

カリキュラムはテーマごとに技術でステップアップできるようにしています。

ちなみに、PMC ギルドジャパンのカリキュラムは講師によって独自性を出せるようになっています。

PMC の技術って意外にたくさんあるんですよ。

カリキュラムというと何だか堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、技術はしっかり学びつつ、実はうちの教室では作品デザインは基本的に自由です。

何しろアクセサリーは身に着けるものですからね。好みでないデザインを作るのは気が進みませんよね。

(でも逆に、教室でみんなと同じ作品を作るほうが安心、という方もいらっしゃるかもしれません。講師によるカリキュラムの自由度があるからこそ、相性のいい教室を選べるということも PMC ギルドジャパンの良さだと思います。)

私は教室では生徒さんがご自分の引き出しを増やすお手伝いをしているような感じです。

私自身も生徒さんから学ぶことがたくさんあります。

生徒さんとのやりとりはとっても楽しみで、毎回、皆さんの笑顔に癒されて帰ります。

2. PMC との出会いとはどんな形でしたか？PMC 歴もお願いします。

金属なのに粘土状で造形できるんだ！とビックリしました。

2000 年頃に東急ハンズで見かけたのが最初です。

その後、新製品が出る度に PMC はどんどん進化してきました。

もしかするとこんなことも出来るのかも？と考えたり、情報交換するのが楽しくて、気がつくと年月が経っていました。

当初はこんなに長く続けるなんて思ってなかったんです。

ある意味、未だに PMC は私にとって難しい素材です。**簡単ではないからこそ面白い。**

それだけ飽きさせない魅力があるということかもしれません。

3. PMC 講師としての経験も豊富だと思いますが、講師をやっていて良かったと思うエピソードを願います。また大変だったこともあれば願います。

講師になったばかりの頃、体験講習でこんなことがありました。

参加者の顔ぶれはこうです。

最初に現れたのが、リタイアした釣りマニアの髭の男性。

そこに、地方から上京したばかりと思われる無口な男子学生が加わりました。

その次に現れたのは黒服&黒縁メガネの 30 代キャリアウーマン。

この時点で、講師初心者だった私は内心困惑気味です。

更には、ちょっと汚れた作業着の仕事帰り中年男性。

そして、最後に遅れて参加したのが、その当時流行ったコギャルさん。

全く共通点のカケラもないこの 5 人。一体どんな雰囲気に進めたらいいのか？

焦りました。だって、まとめるのは絶対無理そうじゃないですか。

でも、結論から言うと心配は無用だったんです。

始まって少し経つと、リタイアおじさんは大学生に自分で会得したコツを教え始めました。

作業着男性はキャリアウーマンに話しかけ、コギャルさんも加わり…なんと最後にはこの 5 人、すっかり仲良くなったのです。

お互いの作品の感想を言い合い、体験時間が終わってもなかなか席を立とうとしません。

一期一会と知っているからこそ、席を立つのが惜しかったのでしょうね。

ちょっとした奇跡を見ているようでした。

趣味でつながる人間関係って不思議だなあと思います。

例えば、家族や親戚、学校時代の友人、仕事の知人…いろいろな人間関係がある中で、「PMC が好き」というだけで繋がっている関係なわけです。

お互いのプロフィールはよく知らないのに、ある部分で共通のものを感じられる。

今日初めて会ったのに PMC の深い話ができるなんて、なんだかいいですね。

4. プライベートでは主婦として忙しい日々を送られていると思います。家事・育児と講師の仕事の両立は大変ですか。

う〜ん、どれも完璧ではなく失敗も多いんです。

でも、悩みながらも楽しそうにやっている姿を見て、家族は呆れつつ応援してくれました。家族の反応は重要ですね！

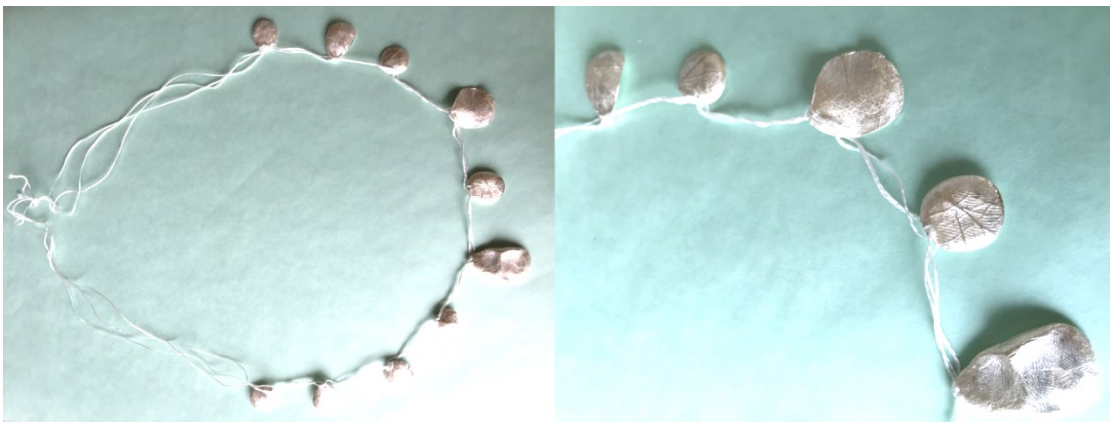
5. これから PMC を始める方々に向け、メッセージをお願いいたします！

とにかく楽しんでほしいということです。

PMC の楽しさの一つではありません。デザインを考える楽しさ、形にしていく楽しさ、身に着ける楽しさ。どうやって作ろうかと工夫して頭も使うし、自然の美しさや様々なアートにも敏感になることでしょう。既成概念を離れて自由になる感覚をぜひ楽しんでください。



騙し絵のようにウサギのシルエットが隠れています。資格を取ったばかりの頃の作品で、その頃の PMC のワクワク感を思い出します。



幸せだと思う瞬間をイメージしながら粘土状の PMC を握ってもらい、それを糸で結びました。自然についた手の皺がいい感じです。PMC って気持ちをじかに込められる素材だなあと感じました。



MJC 丸の内店で過去に販売された作品。シリンジを使用した繊細さが特徴です。

PMC の講師としてご活躍されている、吉田まなみさんのインタビューいかがでしたでしょうか？

吉田まなみさんのお教室通ってみたい！という方はぜひお教室にお問い合わせしてみてください。これから始めればあなたも PMC プロとして活躍できます！

アトリエ Wish 豊洲教室

江東区（最寄駅：豊洲駅） / Tel: 090-9828-7636 / [email](#)

資格認定コースあり

少人数でアットホーム しっかりサポートします。

アトリエ Wish 三鷹ジュリアン教室

三鷹市下連雀 3-21-23（最寄駅：三鷹駅） / Tel: 0422-24-8804 / [email](#) / [website](#)

資格認定コースあり

協会代理店教室。穏やかな笑顔いっぱいの教室です。